

## 星になった宮沢賢治(後編)

京都薬科大学 名誉教授 桜井 弘

### 星になった宮沢賢治『小惑星5008 Miyazawakenji』

ところで、素晴らしい作品を残した賢治自身が星となって輝いていることは、ご存知ですか？ここには、素敵な物語があります。

1991年2月20日、滋賀県のダイニックアストロパーク天究館の杉江淳が、シュミットカメラによって発見した小惑星には1991DVという仮番号が与えられました。天究館の初代館長の米田康男が賢治の弟の清六から、宮沢賢治という名前の天体はまだないことを聞いて、天究館で発見された1991DVに宮沢賢治と命名することを思いついたので。賢治生誕100年にあたる1996年に、国際天文連合はこの星に小惑星番号5008番を与えて、Miyazawakenji(宮沢賢治)、とよぶことを正式に決めました。

8月号でみたように、賢治は生き物を星や星座として輝かせていましたが、今度は賢治自身が輝く星となりました。

賢治の星は、太陽の周りを巡る惑星の火星と木星との間にある小惑星帯(メインベルト)(図1)にあります。小惑星帯には無数の小惑星があると考えられていますが、この中で一番大きいのは準惑星ケレス(公転周期4.61年)で直径は約940kmもあり、2番目は約520kmの小惑星ベスタ(公転周期3.63年)です。小惑星宮沢賢治は、これらに比べるとはるかに小さく、直径は7.2km、公転周期が3.3年です。

なお、これまで大きな話題となってきましたItokawa(いとかわ)やRyugu(りゅうぐう)もともに小惑星ですが、これらは小惑星帯にはなく、地球に近い軌道を持つ地球接近小惑星です。これまでの観測から、直径と公転周期は、イトカワは約535mと約1.52年、リュウグウは約900m程度と約1.3年と推定されています。

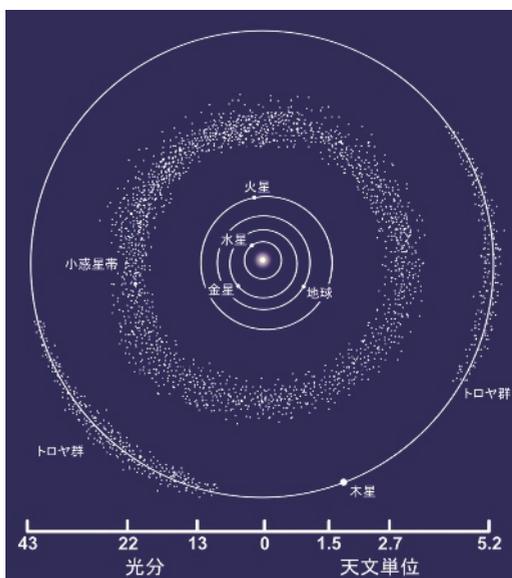


図1. 小惑星帯  
(<https://ja.wikipedia.org/wiki/小惑星帯> より)

### 星になった弟『小惑星21016宮沢清六』

一方、1988年11月2日、高知県芸西村の芸西天文学習館でアマチュア天文家の関勉(1961年に初めての彗星である「関彗星」を発見。その後、6個の彗星を発見。1965年には肉眼でも見える池谷・関彗星を発見。)が発見していた小惑星には、番号21016が与えられ Miyazawaseiroku(宮沢清六)と名づけられました。

宮沢清六(1904-2001)は賢治の8歳年下の弟であり、賢治の死後、賢治の残した作品群を多くの文学者ととも整理し書籍として刊行し、賢治研究の最大の貢献者のひとりとして知られています。兄思いの清六星の近くに兄賢治星が生まれ、宇宙で兄弟が再開を果たすことができたのです。

### 星になった友と山『小惑星22352藤原健次郎』と『小惑星22355矢巾南昌山』

さらに興味深い物語があります。1992年10月19日と26日、アマチュア天文家の円館金と渡辺和郎は北海道網走郡にある星ドロボウ津別観測所で番号22352と22355をもつ二つの小惑星を発見しました。この二つの小惑星は、福島県郡山市の天体写真家藤井旭のグループにより、それぞれFujiwarakenjiro(藤原健次郎)とYahabananshozan(矢巾南昌山)と名づけられ、国際天文学連合で2019年に承認されました。

1909年、賢治は盛岡中学校に入学し、寮生活をはじめました。1年先輩に矢巾町(当時は不動村)出身の藤原健次郎(1894-1910)がいました。健次郎は成績優秀で、野球部員としても活躍し、めんどろ見もよく、寮で同室になった二人は急速に親しくなりました。賢治の「東京ノート」には、健次郎をつづったメモが見られます。2年の1学期に「藤原健次郎 南昌山 水晶 頂上」、「藤原 野球 ウツ」、そして2学期には「藤原 死ス」と書かれています。二人は矢巾町と雫石町の境にある鐘を伏せたような形の南昌山(標高848メートル)に登り、水晶などを採集し、賢治は健次郎がでる野球の試合を見に行っていたのでしょうか？楽しく過ごした様子がわかります。しかし、当時16歳であった健次郎がチフスにかかって突然亡くなり、二人の交流は断たれてしまったのです。盛岡高等農林学校に進学できた賢治は、その後南昌山へ何度も登ったようですが、健次郎のことを想像させる寂しげな短歌を残しています。また南昌山を舞台にした童話『鳥をとるやなぎ』では「藤原慶次郎」と「私」の交流が描かれています。

まくろなる 石をくだけば なほもさびし 夕日は落ちぬ 山の石原  
毒ヶ森 南昌山の一つらは ふとおどりたちて わがぬかに来る

歌稿〔B〕 239, 240

友を失った賢治が受けた悲しみは、南昌山とともにあったのです。この悲しい物語から、小惑星の名前がつけられたのです。賢治と健次郎は、南昌山を望む星空の中で、再会を果たすこととなったのです。

賢治は、弟の宮沢清六、寮の友人藤原健次郎、そして南昌山とともに星となり、宇宙のかなたで遭遇し、今なお生きているのです(表1)。

表1. 宮沢賢治と小惑星

小惑星番号	小惑星の名前	仮番号	発見者	小惑星族	直径(km)	公転周期(年)
5008	Miyazawakenji 宮沢賢治	1991DV	杉江淳	フローラ	7.2	3.3
21016	Miyazawaseiroku 宮沢清六	1988VA	関勉		3.4	3.79
22352	Fujiwarakenjiro 藤原健次郎	1992UP <sub>3</sub>	円館金 渡辺和郎		5.7	3.81
22355	Yahabananshozan 矢中南昌山	1992WD <sub>1</sub>	円館金 渡辺和郎	ニサ	2.2	3.81

## [参考]

- 1) 『宮沢賢治全集 1～10』 ちくま文庫(1986-1995)
- 2) 宮沢賢治(小惑星) - Wikipedia
- 3) 宮沢清六(小惑星) - Wikipedia
- 4) 藤原健次郎(小惑星)と南昌山(小惑星)  
<https://www.town.yahaba.iwate.jp/docs/2022113000027/files/12-13.pdf>
- 5) <https://ja.wikipedia.org/wiki/小惑星の一覧>
- 6) 桜井弘、化学、68[7]17-22(2013)、69[4]20-24(2014)、70[2]52-57(2015)
- 7) 桜井弘 『宮沢賢治の元素図鑑』化学同人(2018)

桜井 弘



KONICA MINOLTA

私たちは「宇宙」を作っている会社です。

— プラネタリウム生誕100周年 —

最新の光学・デジタル プラネタリウム機器の開発・製造から、独自の番組企画・制作・運営ノウハウに至るまで、プラネタリウムという“スペース”の可能性を追求し続けてまいります。

コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

本社・東京事業所 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3 TEL.(03)5985-1711  
 大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 TEL.(06)6110-0570  
 東海事業所 〒442-8558 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL.(0533)89-3570  
 URL: <http://www.koncaminolita.jp/planetarium/>

画像：大阪市立科学館